



## 地方議員研究会セミナー参加の所見

平成28年1月28日（木）福岡市博多区において開催されました。地方議員研究会セミナーに参加しましたので、講義内容について以下所見を述べます。

講師：川本達志氏（元廿日市市副市長）

### ① 地方財政制度と自治体財政 10:00～12:00

所見： 地方財政制度と自治体財政の基本的な視点と関わりについての講義を受講し、福祉学校教育、消防、道路や河川等の社会基盤の整備をはじめとした国民生活に密接に関連する行政はその多くが地方公共団体により実施されている事が理解できた。地方財政は国の財政と並ぶ車の両輪として極めて重要な地位を占めており、今後も地方分権の推進や少子・高齢社会に向けた介護保険制度等の実施等によって地域福祉の充実など地方公共団体が担うべき役割とこれに伴う財政措置がますます重要になってくる事が理解できた。

### ② 自治体の予算の見方 14:00～16:30

所見：自治体予算の見方の講義を受講し、自治体予算の作り方と家庭や一般企業の予算の作り方の相違点や地方自治体と国家予算の相違点と関係、歳入予算の組み方歳出予算の立て方、予算カードの見方、特別会計予算や補正予算の意味など基本的な予算の見方について学ぶことが出来た。

地方交付税については、本来、地方公共団体の財源は自ら徴収する地方税などによる自主財源をもって賄う事が理想である。しかし現実には財源などは地域的に偏在しているため、これを調整し、地方税収入の少ない団体にも一般財源を保障する仕組みが必要となってくる。このような趣旨から設けられたのが地方交付税制度である事が理解できた。